



今月の特集関連本④



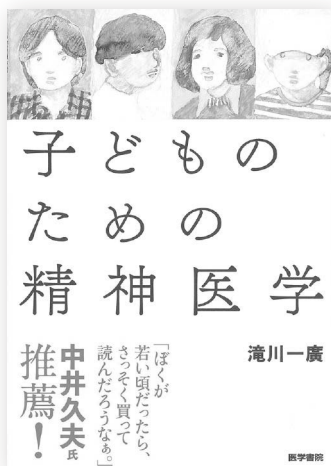
精神科の薬がわかる本

第4版

姫井昭男＝著

定価 2,420 円／A5 判・228 頁／医学書院／2019

精神科の薬を“ざっと”知りたいあなたのための好評定番書！「精神科の薬を取り巻く環境の変化や新薬を、著者の臨床実践をもとに追加」というコンセプトはそのままに、よりわかりやすく見やすく紙面を刷新。社会背景とともに変わっていく薬の評価や役割。氾濫する情報にまどわされないためにも、医療職だけでなく精神科の薬に関わるすべての人が手元に置いておきたい1冊。



子どものための精神医学

滝川一廣＝著

定価 2,750 円／A5 判・464 頁／医学書院／2017

発達障害？ アスペルガー症候群？ 知的障害？ 自閉症？ ADHD（注意欠如・多動症）？ LD（学習障害）？ ところでスペクトラムって何？ 本書を読めば、錯綜する診断名を「認識と関係の座標軸」のもとに一望できるようになる。読めばわかるように書いてある、ありそうでなかった児童精神医学の基本書。事例の機微をすくい上げる繊細な筆さばき、理論と実践の生き生きとした融合、そして無類の面白さ！ マニュアルでは得られない「納得」がここに。